

教科・学科	芸術	科目	音楽Ⅰ	単位数	2	学年	1
使用教科書	改訂版 高校生の音楽Ⅰ		発行者の番号・略称	89 友社		教科書の番号	音Ⅰ 311
指導者名			副教材等	なし			

1 学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。

2 学習の計画

単元名	項目	学習のねらいと学習活動(指導内容)
歌唱	楽しく歌おう(日本語歌曲) 校歌 翼をください なぎさ道	・正しい発声を理解して、意欲的に楽しく歌うことができる。 ・リズム、フレーズ等を把握し、表現を工夫して歌うことができる。 ・歌詞の内容をイメージしながら、表現することができる。
楽典	楽譜の読み方 記号・音符・休符の書き方	・楽譜の仕組みを理解することができる。 ・記号、休符、音符の意味や書き方を学び、読譜の力を伸ばすことができる。
鑑賞・歌唱	映画「アラジン」 ホールニューワールド	・作中の音楽がもたらす効果に興味関心を持って鑑賞することができる。 ・イメージを持って、作中の挿入歌をのびのびと歌うことができる。
1学期のまとめ	既習曲の歌唱テスト 筆記テスト	・正しい発声を身につけ、のびのびと発表することができる。 ・1学期の学習内容を理解することができる。
歌唱	季節の歌(夏) 少年時代	・曲想や歌詞の内容からイメージを膨らませ、自分なりに表現することができる。
歌唱	外国歌曲 オーソレミオ(伊語) ハイデンレースライン(独語)	・原語の発音に興味を持ち、意欲的に歌うことができる。 ・言葉のアクセント・イントネーションを音楽との結びつきを感じとって表現することができる。
鑑賞	箏曲「みだれ」	・我が国の伝統音楽について興味を持って鑑賞することができる。
器楽	ソプラリコーダー ソロ演奏 アンサンブル合奏	・曲の背景や曲想を生かして創造的に表現することができる。 ・リコーダーの正しい奏法を学び、美しく演奏するための技術を磨くことができる。 ・音の重なりのおもしろさを感じ、よりよい合奏するために周囲と協力して練習することができる。
楽典	音名口 (英語、日本語、独語、伊語)	・各言語の音名を知ることができる。 ・楽譜の記号や読み方と関連付けて音名を理解することができる。
2学期のまとめ	外国歌曲の歌唱テスト リコーダーグループ発表 筆記テスト	・言語の発音を理解し、曲想を生かした発表をすることができる。 ・基礎を身につけ、美しい音色で発表することができる。 ・2学期の学習内容を理解することができる。
歌唱・器楽	季節の歌(冬) きよしこの夜 荒野の果てに	・外国文化への興味・関心を持って歌うことができる。 ・賛美歌の持つ響きや輪唱の美しさを理解し、自分なりに表現することができる。
鑑賞・歌唱	ミュージカル「アニー」	・ミュージカルの魅力を知り、興味を持って鑑賞することができる。 ・ストーリーや登場人物の性格を理解した上で挿入歌を歌い、自分なりに表現することができる。
楽典	和音、コードネーム	・和音の作りを理解し、今までの学習内容と併せて理解することができる。 ・簡単なコードネームを学び、実技に結びつけることができる。 ・受講クラス内で4声に分かれ、美しい合唱を響かせることができる。
創作 歌唱	合唱 Tomorrow	・コードネームからメロディを創作してみる。 ・同じパート内で協力し合い、練習に取り組むことができる。 ・全員で協力し合い、美しい合唱を作り上げることができる。
年間のまとめ	ミニ発表会 筆記テスト	・1年間の学習を生かし、発表することができる。 ・1年間の学習内容を理解することができる。

※年間指導計画は予定であり、変更する場合があります。

教科・学科	芸術	科目	美術 I	単位数	2	学年	1
使用教科書	美術1		発行者の番号・略称	38 光村		教科書の番号	美 I 304
指導者名			副教材等	なし			

1 学習の到達目標

美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。

2 学習の計画

以下のことについて、年間を通して学ぶ。

単元名	項目	学習のねらいと学習活動(指導内容)
造形の基礎	素描(クロッキー) 画面構成の基礎	手や人物デッサンを通して、形のとらえ方や表現方法を習得する。 画面構成の基礎・基本と演習
デザイン	平面構成	テーマに基づいて、そのイメージを形や色で表現する。 ・構想では、独自のアイデアを盛り込む。 ・彩色では、全体のバランスを考え配色し、計画的にすすめることができる。 ・色むらにならないよう、水の量を考えポスターカラー(アクリルガッシュ)を扱うことができる。 合評会 ・自他の作品について、自分の意見を述べるができる。
デザイン	平面構成	人工物を用いた構成 対象とする人工物を単純化したり、組み合わせたりして構成する。 ・人工物の一部の拡大や、視点に変化を取り入れる。 ・変化と統一を考え構成する。 ・全体の色調を考え、場合によってはアクセントとなる色を取り入れる。
美術史	近代西洋美術史	印象派から立体派までの西洋美術の流れを理解する。
絵画	水彩による自画像	鉛筆デッサンの上に淡彩で表現 ・自己の内面が表されるようなポーズの工夫につとめる。 ・正確に形をとり、線の粗密・強弱により立体感及び質感を表現する。 ・鉛筆デッサンを生かすために、彩色は水彩による淡彩とする。

※年間指導計画は予定であり、変更する場合があります。

教科・学科	芸術	科目	書道 I	単位数	2	学年	1
使用教科書	書 I		発行者の番号・略称	38 光村		教科書の番号	書 I 308
指導者名			副教材等	なし			

1 学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して、日常生活の中での書道に対する関心を養う。また、書表現と鑑賞の基礎能力を育成する。

2 学習の計画

以下のことについて、年間を通して学ぶ。

単元名	項目	学習のねらいと学習活動(指導内容)
書へのいざない	ガイダンス	基本的な姿勢・執筆法を身につける。 「文房四宝」について理解し、効果的に用いるよう促す。
楷書	九成宮醴泉銘 孔子廟堂碑 雁塔聖教序 顔氏家廟碑 等	楷書古典の臨書学習により、基本的な点画や線質の表し方、用筆法・運筆法を学ぶ。
作品制作	刻字(文化祭作品)	刻字の準備と手順について理解し、特徴を生かした表現をすることができる。
行書	蘭亭序 風信帖 等	行書古典の臨書学習により、行書の特徴を踏まえ、用筆法・運筆法を学ぶ。
仮名	平仮名 片仮名 変体仮名 連綿 等 高野切 第三種	仮名の書独特の筆づかいに慣れ、基本用筆を習得する。
落款と雅印	篆刻	落款と雅印の意義を知る。雅号印を刻し、創作作品に押印する。
創作	漢字仮名交じりの書 漢字仮名交じりの書 作品鑑賞会	文字と余白の関係を理解し、全体構成を考えた表現を身に付ける。 作品を鑑賞し、感じたことを自分のことばでまとめ、意見交換する。

※年間指導計画は予定であり、変更する場合があります。